



# 新しい庁舎とふれあいセンター 市民参加で地域の拠点を築くワークショップ

## vol.02 公園編



5月1日(土) 13:00~16:00 @大口ふれあいセンター

5月1日(土)に新庁舎とふれあいセンターを考えるワークショップvol.2(公園編)の第一回を開催しました。今回のワークショップは敷地内に分散する「公園」に焦点を当て、「みんなが行きたくなる公園を考える」がテーマ。公園設計の担当者も交え、参加者とアイデアを出し合いました。

### 当日のプログラム

- ① 開会のあいさつ ▶ 向園 係長
- ② ワークショップの概要確認
- ③ テーブルごとにチェックイン
- ④ 新庁舎とふれあいセンターの計画の現場について知る
  - ▶ 伊藤 恭行さん(シーラカンサンドアソシエイツ・Dai建築DESIGN共同企業体)
- ⑤ 公園について知る
  - 伊佐市の公園について
    - ▶ 松山 昌樹さん(伊佐市 建設課 道路維持・施設管理係 担当)
  - 最近の公園事情について
    - ▶ 大野 暁彦さん(株式会社SfG landscape architects)
- ⑥ 新しくできる公園について考える
- ⑦ チェックアウト、解散

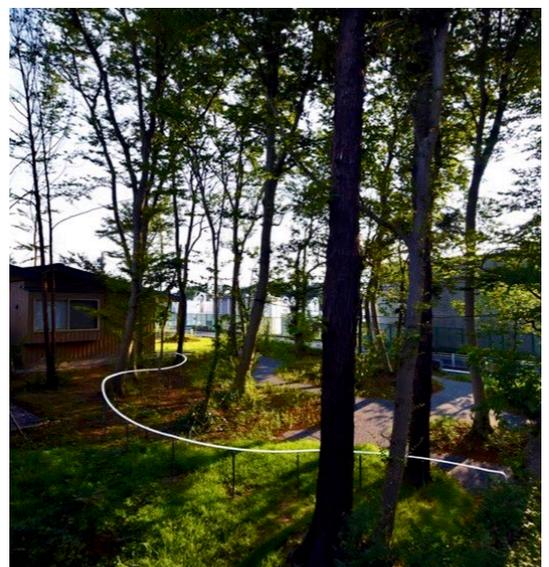


ワークショップの様子

### 公園について知る

当日のワークショップでは、伊佐市の公園担当の松山さんから【伊佐市内の公園事情】についてお聞きし、今後の市内の公園計画についても考えをお聞きしました。

また、今回の新庁舎建設のランドスケープ担当の大野さんから、【実際に手がけられた公園(ぶるーむの風、コトニアガーデン新川崎、アクアマリンふくりま など)】や【最近の公園のトレンド】などについても教えていただきました。



事例：ぶるーむの風



あなたにとって良い公園の条件はなんですか？

幅広い世代が使える 安心して遊べる 死角がない  
ゆっくり寛げる 色々な居場所がある トイレがきれい  
ボールであそべる 楽しみがある 良い香りの草花がある  
はだしであるける ひととのまじわりが自由に出来る  
きれいに整備されている 用途がはっきりしている  
おおきく息が吸える 明るい くつろぐ事のできる木かげ  
季節を問わず美しい芝生がある 楽しげな人がたくさんいる

新しい公園はどんな場所であってほしい？

- ・にぎわいを生み出す場所
- ・人を連れていきたい場所
- ・居心地がいい、退屈しない
- ・楽しく遊べる場開放的な場
- ・親子でくつろげる
- ・家の庭で出来ないことができる
- ・新庁舎と中央商店街をスムーズにつなぐ場所
- ・子ども同士のコミュニケーション
- ・青春できる
- ・学び（トレンド）が得られる
- ・お金が生まれる（動く、稼ぐ） など

新しい公園ではどんな過ごし方をしていますか？

体を動かす 木登り おやつ、お弁当を食べている  
大きな声を出している 歌を歌っている 人を待つ  
何もしない ネットで動画を見る 木陰でくつろぐ  
寝転がる 読書する ひなたぼっこ ピクニック  
育てる 手入れをする 耕す 観察する 語る  
にぎわう 音楽を聞く 市民参加型避難訓練  
バスケ、スケボー チャレンジ PR  
集まってゲームする デートする ずぶ濡れになる  
子供と一緒に汚れてあそべる ダンスをする  
買い食いする 見守れる いいにおいがする  
風がぬける 誰かいる ボーッとする 走り回る  
人とつながる 商売をする など

参加者の声（アンケートからの抜粋）

- ・前回のWSより少人数でしたが、皆さん積極的で非常に盛り上がった。
- ・エリアに名前までつけることで、どのような使い方をするのか具体的なイメージが増した。
- ・自分にはない視点をたくさん聞くことができた。
- ・初めてワークショップというものに参加しましたが、とても楽しかったです。次回もよろしくお願いします。
- ・会場の全員が前向き！！
- ・可能であれば、同じ屋外空間である屋上の使い方についても方針を今度の設計計画に取り入れられればと思います。